

この資料は、写真とグラフを多用し、予算のポイントを重点的に分かりやすく記載したものです。難解な予算書を、関心を持つ誰もが理解しやすいものにすべきとの私の提言が形になりました。

パソコン・スマートホン等では「川越市29年度予算」と検索し、「平成29年度予算概要/川越市」のページの下の方のダウンロード欄「29年度予算のポイント」から見るすることができます。

提言② 27年6月議会で、産前産後ヘルパー派遣事業実施を

↓ 29年度の新規事業として産前産後サポート事業を実施

産前産後サポート事業では、家庭訪問型の子育て支援である「ホームスタート」をNPO法人への委託事業という形で実施します。ホームスタートは、「外出しづらい」「頼れる人が身近にいない」そんな子育て家族を、研修を受けた子育て経験者のボランティアスタッフが「傾聴」(気持ちを受け止めながら話を聴く)や「協働」(育児家事や外出を一緒にする)等、友人のように寄り添いながらサポートします。秘密は厳守されます。ただし、ベビーシッターや家事代行はできません。

対象 妊婦さんから1歳未満のお子さんがあるご家庭 利用申込 『ホームスタートかわごえ』

電話 080-9779-8181 E-mail homestart.kawagoe@gmail.com 利用料 無料 



庁用車の適正管理について提言 3月議会川口の一般質問より

今回の一般質問では、庁用車を効率的に稼働させるための課題と解決に向けた提言を行いました。

平成27年度時点で、市が職員へ貸出しを行う庁用自動車として保有している一般車両は147台ありその内125台は部署ごとに専属的に長期貸出し、22台については一般貸出しとして、そのつど管財課の車両管理担当に貸出手続きを行い使用されていました。

平成22年の公開事業点検後、新規車両の抑制や軽自動車への転換が進められており、今回のやり取りでも、これらは順調に進んでいることを確認することができました。

一方で、運行状況の詳細が手書きの運転日誌のみであることで、車両管理担当でも稼働状況の把握や検証がしきれていない現状がありました。現状を検証できないということは、最適な保有台数や、適正な管理方法を示すことが困難であることを意味すると考え質問しました。

課題

- ①、リアルタイムの稼働状況がわからない
- ②、車両の運行状況把握に手書きの運転日誌を1枚ずつ調べる必要がある
- ③、毎月の使用回数が2~3回しかない部署専属車両も(長期貸出し)



提言

- ①、部署ごとの専属貸出し車両を減らし、一般貸出車両の増加を
- ②、システムを改修し運行状況をリアルタイムで把握、後日検証も可能に
- ③、リース車両の拡充検討を



答弁

- ①、庁用車の効率的な稼働を検討していきたい。
- ②、引き続きリース方式による庁用車も活用していきたい

